



オンライン講演会のご案内

衣笠太朗氏による、旧ドイツ領をテーマに掲げた講演会の第3弾を開催します
今夏に衣笠氏自らが旧ドイツ領地域を訪れ、撮影した写真と共に
当該地域の歴史を解説し、現在の状況を考察します！

第3弾テーマ：

旧ドイツ領の今

ベルギー、デンマーク、ポーランドの国境地帯を巡って
～歴史の記憶とアイデンティティの形成～



ベルギー・オイペン
(撮影：衣笠氏)

日時： 2023年12月17日(日) 18時00分~19時30分(講演60分、質疑応答30分)
講師： 衣笠太朗氏(神戸大学大学院国際文化学研究科講師、当協会会員)
参加費： 無料
参加形態： オンライン(Zoom)
申し込み方法： [こちらをクリック](#)、または右QRコードよりお願いします
担当： 勝見浩明(常任理事・青壮年部部長)



Zoom操作など何かご不明点がございましたら、
千葉県日独協会イベント用 E-Mail: veranstaltung.jdgc@gmail.com までお問い合わせください

講師紹介

静岡大学人文学部社会学科を卒業後、神戸大学大学院人文学研究科修士課程、東京大学大学院総合文化研究科博士課程を修了。ドイツのハレ大学、ポーランドのヴロツワフ大学に留学・研究滞在。秀明大学学校教師学部助教を経て現在神戸大学大学院国際文化学研究科講師。専門は、20世紀のシレジアにおける住民の帰属意識やナショナリズム、住民移動など。著書に『旧ドイツ領全史：「国民史」において分断されてきた「境界地域」を読み解く』（パブリブ、2020年）『ドイツ帝国の解体と「未完」の中東欧：第一次世界大戦後のオーバーシュレージエン／グルヌィシロンスク』（人文書院、2023年）など。当協会で、2021年「近現代の旧ドイツ領と日本」、2022年「『境界地域 Borderland』としてのエルザス＝ロートリンゲン」について講演。

- researchmap https://researchmap.jp/taro_kinugasa
- X(旧Twitter) https://twitter.com/lotzun_deupol